

第3回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会会議録

1 会議名 第3回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会

2 開催日時 令和2年1月14日（火）午後1時30分から午後3時50分まで

3 開催場所 一関市役所特別会議室

4 出席者

- (1) 委員 佐藤善仁委員長、高橋邦夫副委員長、齋藤清壽副委員長、
黒川俊之委員、高橋美穂子委員、千葉多嘉男委員、鈴木淳委員、
岩淵毅志委員、村上秀昭委員、熊谷嘉啓委員、橋本雅郎委員
- (2) 事務局 小野寺啓総務管理課長、吉田健総務管理課長補佐兼施設整備係長、
中村謙介総務管理課主査
一般財団法人日本環境衛生センター4名（以下、日環センター）

5 議事

(1) 報告

第1回住民説明会等の開催状況について

(2) 協議

- ① 施設整備基本方針について
- ② 事項別方針について
- ③ 候補地の絞込み方針について

6 公開、非公開の別 非公開

7 あいさつ

本日は、昨年末からの廃棄物処理施設の整備候補地の住民説明会の開催状況の報告と、施設整備の基本方針、事項別方針などについて協議いただくのでよろしくお願ひする。

8 報告内容

第1回住民説明会等の開催状況について

報告資料により事務局から説明を行った。

以下、委員からの質問等

委員長 説明会の感じとしては、初めから否定的ものはあまりなかったが、心配だという声や安全性に関する技術的な質問がいくつかあり、日本環境衛生センターに説明をお願いした。

次は3月に開催するが、候補地の中での具体的な整備場所の案などといった説明を行う予定である。

委員 次の説明会では、この前より具体的な話をしなければならない。

委員長 この場でご意見いただいた上で、準備を進める。

9 協議内容

(1) 施設整備基本方針について

資料1により事務局から説明を行った。

以下、委員からの質問等

委員 新中間処理施設と表現されているのはどうしてか。

事務局 住民説明会では新処理施設と説明した。施設の区分としては、中間処理施設で中間処理して最終処分場に埋め立てるものであり、中間処理は破碎や焼却などが該当する。

委員 焼却施設は燃やすイメージだが、中間処理施設は焼くだけではなくいろいろな処理の方法があるとすると、名前により受け止め方が違う気がする。

基本計画では中間処理施設と表記しても、住民説明会などでは新処理施設と説明するのか。

事務局 住民説明会では新処理施設の表現で統一したが、施設整備検討委員会では正確に区分するため、中間処理施設と表現したい。

委員 それぞれの施設の基本方針に番号が付いているが、これは優先順位なのか。

事務局 基本方針の番号は優先順位ではない。

事例としては、項目ごとに重み付けしている自治体もある。

委員 全て重要で横並びだとして、優先順位はつけないほうがいいのではないか。

事務局 施設整備基本方針は、これから策定する施設整備基本計画の始めに掲載する。

そのため、包括的な表現であったり、箇条書きといった構成にしている。

最終的には今年の9月ぐらいまでに決定したいと思うので、それまでは様々な意見をいただき、事務局で取りまとめ委員会に示したい。

委員 3月の説明会では、こういう案を今検討しているとして示すのか。

事務局 そのような予定である。

委員会の意見も住民の意見も反映した形で、9月に最終的に決定いただくような進め方を考えている。

委員 重み付けをするかしないか、方向は決めなければならないのではないか。

事務局 いずれも重要な項目だという扱い方で、どれが欠けても不十分と考えており、重み付けは不要と考えている。

委員長 この内容と書き順でいい気がする。最後は1か所に絞り込んだとき、客観的な説明をしていく中でこれを整理すればいいと思う。

候補地の選定のスケジュールはどのように考えているのか。

事務局 地域計画（交付金計画）を作成するに当たり、11月前に決めていきたい。

委員長 地域計画は11月に提出するものなのか。

地域計画には詳細な整備場所が必要になるのか。

事務局 環境省への締め切りが11月末となっている。

事業として実行性がある状況であれば、詳細な場所は未定でもかまわない。

委員 絞込みは、経済面や構成市町の政策面からの検討が必要と説明している。基本方針から最適地を絞り込むものと思ったがどうなのか。

事務局 施設整備基本方針と絞込みはかかわる場合も、かかわらない場合もあると思う。例えば施設整備基本方針の安全かつ安定性に優れるということは、どこでも共通する部分である。経済性に優れるということであれば、絞込みの考えと合致するかもしれないが、いろいろ検討する必要があると思っている。

委員 中間処理施設は、どこの場所でも基本方針の内容で進めればよいと思ったが、最終処分場は基本方針の内容、特に環境に配慮したとか、災害に強い、経済性に優れたというあたりは場所に依存すると思った。

基本方針の案として示さなくてはならないだろうという内容であり、このままでいいと思うが、もう少し前倒しで決めてしまって、1カ所への絞込みは基本方針で検討すべきではないか。

事務局 この案でいくと経済性に優れた施設というのが、場所の選定には具体的にかかわってくる項目なのかもしれない。

また、提案した基本方針案は、地元や住民説明会でいただいた意見、考え方を加えられる構成とすることを考えた。

委員長 この施設整備基本方針について、取扱いをどうするかという意見などはいろいろ出たが、資料1の提案内容から修正すべき内容などはないか。

事務局 2月にも委員会があるので、2月の委員会でも気づいた点があれば意見をいただきたい。

委員長 それでは、気づいた点があれば、事務局に連絡をお願いする。

(2) 事項別方針について

資料2-1、資料2-2により事務局から説明を行った。

以下、委員からの質問等

委員長 処理方式は、焼却方式や非焼却方式という検討が必要だが、同じ処理方式でも他の自治体での導入事例、具体的な数字などをもとに検討していきたい。

事務局 本日、処理方式の種類、各方式のメリットとデメリット、費用など今後の判断に役立てていただくため説明をした。

規模、自主基準値をどうするかを検討も必要である。

施設の規模は事業費に直結するが、廃棄物発生量の努力目標で規模を決めるわけにいかない。慎重に調べ、検討し、決定いただきたい。

委員長 客観的で具体的な内容で検討していきたい。

(3) 候補地の絞り込み方針について

資料3により事務局から説明を行った。

以下、委員からの質問等

委員 新処理施設への給水は、いつの段階で検討するのか。

新処理施設の全候補地は給水区域内となっているのか。

事務局 給水区域内となっている。基本的に上水道を考えているが、上水道の容量が足りない場合は、井戸等の水源を確保したい。

委員長 資料3には絞込み方法の案として3つあり、まず構成市町の施策との整合性については、構成市町の市域開発、町域開発、土地利用計画など、エリアをどう開発するかという国土利用計画のような施策との整合性を図るという視点で考えるべきである。

2つ目の施設整備の基本的な考え方に合致することについては、施設整備基本方針に基づくことになると思う。

3つ目の地権者へのアンケートによる意向調査については、地権者は用地交渉の相手であり、意向の確認は必要だが、一方で地域の意向も重要である。内容等について検討してほしい。

事務局 次回までに検討し、再提案する。

10 担当課 総務管理課